



KUMAMOTO

# GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

国際ロータリー 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

R.I.会長 シェカール・メータ

地区方針 「ロータリーのパワーは親睦が生み出す！

あらゆる場面を親睦の機会に～話しかけよう～」

R.I.2720地区 ガバナー 大森克磨

熊本グリーンRC 「繋げよう・伝えよう 希望を！」

熊本グリーンRC会長 田中純司



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～  
2022年度  
テーマ

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：田中純司 ■幹事：田中慎二 ■会報担当：江上泰弘  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

令和3年7月26日

第1417回

2021 - 2022 年度 第4回

## 【例会】

★コロナウイルス感染防止の為、ロータリーソングは「マスク着用」にて歌唱します。

- ・君が代(第1週目)
- ・ロータリーソング「手に手つないで」

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

来訪者紹介 (田中純司 会長)

友情の握手

\*今年度より「肘タッチ」を行います。

会長スピーチ (田中純司 会長)

会長就任挨拶の時に、これまでグリーンロータリークラブで行ってきた奉仕活動や行事の一部を紹介しました。九州新幹線開業記念駅伝、「華友会」支援事業、「広安愛児園」学習支援、「西里地区ホタル育成支援」、「アクアスロン大会」支援、その他たくさんありました。

今日は、松村秀逸会員の卓話ということで、松村会員の紹介での「西里地区ホタル育成支援」について簡単にお話しさせていただきます。補足や訂正は後ほど松村会員にお願いします。

また、松村会員は2010～2011年度の会長を務められ、私が幹事を務めさせていただきました。その時のクラブテーマが『自然、環境、融和』で、ホタル育成支援に繋がっているところです。

「西里まちづくり委員会」を中心に「西里校区ホタル育成保護」活動を行われており、自然環境を守る一環として平成22年から支援金の支援を行っています。

平成23年、24年、25年、27年、30年と5月下旬に会員と家族で「亭の元」での食事会 ほして瑞巖寺公園付近をホタル観賞しながら散策を行いました。平成28年と29年は熊本地震の影響で食事会は開催できませんでした。また、ここ2年間はコロナウイルスの影響があり中止になって

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

## 卓話予定

- 8/2 「会員増強クラブ・フォーラム」
- 8/9 祝日の為休会(山の日の振替休日)
- 8/16 「スーパースプリントアクアスロン熊本大会」について
- 8/23 「熊本グリーンロータリーアクトクラブ今期活動計画」について

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

います。「西里まちづくり委員会」の継続的な頑張りで、年を重ねるごとにホテルの数も増えてきているように感じています。今年度は是非、食事会・観賞会が行えることを願っています。

**幹事報告** (田中 慎二 幹事)

**[例会変更・取り止め]**

**<例会取り止め>**

以下の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。

[熊本東 RC] 8月10日(火)

[熊本西 RC] 8月10日(火)

\*サインメーカーキャップは行いません。

[熊本西 RC] 8月31日(火)

[熊本江南 RC] 8月11日(水)

[熊本西南 RC] 8月12日(木)

サインメーカーキャップは行いません。

[熊本中央 RC] 8月13日(金)

サインメーカーキャップは行いません。

[熊本東南 RC]

8月11日(水)の例会は、祝日が含まれる週のため、取り止めます。サインメーカーキャップは行いません。

**出席報告**

(山下佳介クラブ管理運営 出席担当長)

	会員総数	22名	出席率
7月26日	出席免除会員数	1名	66.67%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	14名	
6月28日	前回の出席会員数	17名	77.27%
	メーカーアップ数	0名	
	修正出席会員数	17名	
メーカーアップ済み会員及びメーカーアップ訪問先			
・なし			

**委員会報告**

「今年度第1回ほろニガ会」のご案内

報告者：河島一夫ほろニガ会世話人

日時：7月30日(金)18:30~

場所：日本郷土料理「青柳」

会費：「ほろニガ会」

会員：2,000円/ビジター10,000円

※1人でも多くの参加をお願い致します。

**スマイル**

(クラブ管理運営委員長 河野 景治 会員)

●田中純司君、田中 慎二君

「紆余曲折ありましたが、無事オリンピックも始まりました。日本の選手たちの活躍も素晴らしく コロナで落ち込んだ気持ちにパワーを貰ってます。本日までで金6つ、この勢いで、大量獲得を祈念しまして、スマイル致します。」

●松村 秀逸 君

「本日は私の卓話です。東京オリンピックで柔道等の選手の皆様が頑張っておられます。頑張っておられる方々にスマイル致します。」

●大友 利行 君

「今日の卓話者、松村会員にスマイルします。宜しくお願い致します。」

●河島 一夫 君

「オリンピックが始まりました。コロナも流行り上通は閑散としています。来店する人も少ないです。早く両方とも終わらないと困ったものです。」

●江上 泰弘 君

「本日の卓話の松村会員よろしくお願ひします。議会中に阿部さんのようにヤジを飛ばす議員 さんや居眠りする議員さんいますか?こっそり教えて下さい。」

●荒木 一之 君

「やっとオリンピックが始まりましたが観客がないので、日本での実感がありません。金メダルがさっそく量産されているようですので、日本の活躍に期待してスマイル。」

「本日の卓話者、松村秀逸会員の卓話楽しみにしております。」

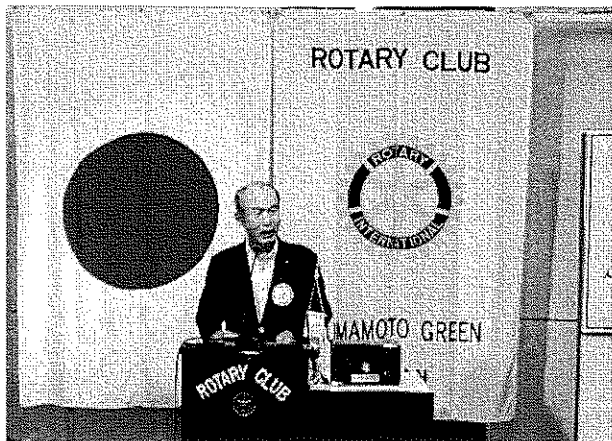
●仙波 洋八 君、栗山 義則 君、河野 景治 君

「松村会員の卓話に感謝のスマイルを申し上げます。熊本の道路計画等、行政のお話を宜しく申し上げます。」

### 3. 例会プログラム

松村 秀逸会員

演題 「熊本県広域道路交通計画について」



皆様こんばんは。私に卓話の時間を頂き、ありがとうございます。

昨年からの新型コロナウイルス禍の中で、感染者防止のため、無観客で東京オリンピックが、開催されております。日本代表選手の活躍は素晴らしく、阿部一二三、詩兄妹の柔道男子66K級、女子52K級と、男子60K級の高藤選手、水泳女子400m個人メドレーリレーの大橋選手、スケートボード男子の堀米選手、女子スケートボードの西矢選手が最年少で金と、金が6個と銀が1個、また女子ソフトボール、卓球混合ダブルスも金か、銀が確定しております。暑い中、また、新型コロナウイルスの感染予防の中で大変な思いをしながら、選手の皆様が頑張っておられます事は、大変喜ばしい事と思います。

また、環境に配慮し、CO2排出ゼロ、脱炭素をアピールした大会であろうと思います。主な取り組みとして、初の水素聖火で、燃焼時にCO2を排出しない水素は、酸素と反応させて発電する燃料電池にも利用できるとの事です。トヨタ自動車は公式車両として、3340台を提供し、このうち9割は燃料電池車(FCV)や、電気自動車(EV)などの電動車が占め、選手村では、自動運転もできるEV(イーパレット)17台を使

った24時間の移動サービスも提供しています。

循環型社会を見据えたりサイクルの取組として、日本選手団の公式ウェアを担当したアシックスは、古着のスポーツウェアから生み出した繊維を活用し、ジャケットで50%、シューズの上部や中敷きの表部分では100%占めています。

また、100台の表彰台を廃プラスチックで製作しており、選手に贈るメダルは、小型電気などの都市鉱山から集められたとの事です。

東京オリンピック、パラリンピックの大会関係者の話では、環境負荷軽減に貢献しCO2排出量もこれまでで最も低い数値になるだろうとの事です。

この大会が開催について、コロナ禍の中で賛否両論ありますが、今までに関係者の皆さんが、コロナ対策や、暑い中での開催等、いろいろ苦勞され、最善の準備をされた関係者の皆様の努力を、日本の国家の威信にかけて世界に向けて実行することがやはり大事であろうと思います。無事に成功し、終わる事を願うばかりです。

次に熊本の事をお話します。

熊本県も、2050年ゼロカーボンに向けて計画し、目標を2030年までにマイナス40%を目指しています。この目標に対して国民県民に浸透するようにPRする事で皆さんが心がけて習慣づく事が大事であろうと思います。

次に、皆様のお手元の資料を見ながら熊本の道路計画についてお話を致します。全ての道は熊本に通じるを目標に、熊本県新広域道路計画を6月に発表されました。熊本市周辺の道路の車の渋滞は、政令指令都市ではワースト1位との事です。これを解消するためには、都市高速道路が一番と思います。

この計画の発表はあくまでも案ですので、これをどの路線を優先するかを早急に決定して取りかからないと道路整備は時間がかかりますので、完成したときに状況が変わるかもしれません。特に予算的なものもあります。

今回は、有明海沿岸連絡道路、熊本都市圏北連絡道路、熊本空港連結道路、熊本都

市圏 南連絡道路、八代天草シーライン、阿蘇山群道路などが構想路線に組み込まれました。

熊本地震で 57 号線の北側代替道路、大津~赤水の二重峠トンネルは、今回、中九州横断 道路に変わりました。後は大津~下硯川 IC までが中九州横断道路になります。下硯川 IC から西環状道路に結接されます。有明・沿岸連結道路と西環状道路に結接され、熊本から 玉名、佐賀方面に行くのに大変便利になると思います。又、玉名方面から阿蘇、大分方面 へ行くのにも大変便利になると思います。

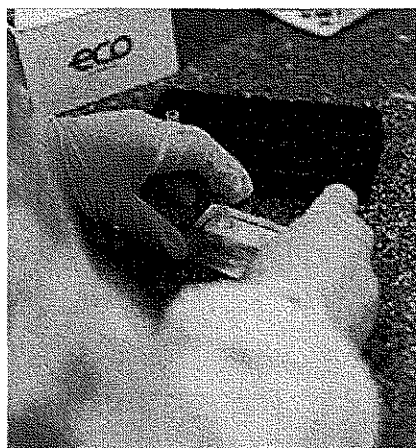
#### 4. 閉会・点鐘

Rotary Leader より

疾病予防

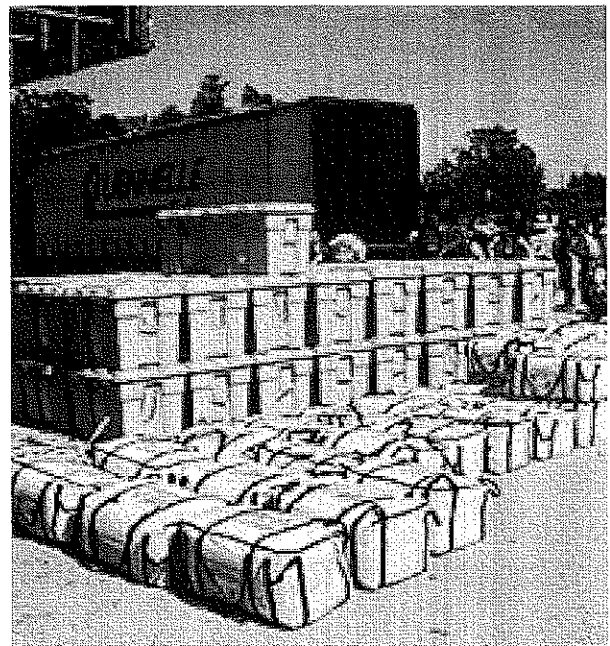
コロナ禍に立ち向かう

ポリオ根絶活動での何十年にも及ぶ経験を生かし、世界中のロータリー会員は新型コロナウイルスとワクチンに関する重要な情報を提供するために保健当局と協力しています。また、ワクチンの公平な配布の支援や個人防護具の寄付を行うことでウイルスの拡散を食い止め、ひっ迫した状態にあるクリニックや病院にほかの物資を提供しています。クラブにできることについて詳しくは、My ROTARYの新型コロナウイルスへのロータリーの対応のページをご覧ください。このページでは、ワクチンの重要性、ワクチン接種に抵抗がある人との接し方、症例が増えているインドへの支援方法などが紹介されています。



地区のコーナー

災害救援のためにシェルターボックスと協力



ロータリーとシェルターボックスは過去 20 年以上、自然災害や紛争によって被災した世界中の何百万という家族に支援を提供するために協力してきました。2021 年にプロジェクトパートナーになって以来、シェルターボックスはロータリーの災害救援活動にとって欠かせない存在となってきました。人びとの命を守り、災害後の住む場所と希望をもたらすために、このパートナーシップは今まで以上に重要となっています。ロータリーのパートナーであるシェルターボックスとの協力を通じて、被災地を支援し、人びとに行動へのインスピレーションを与えることができます。クラブとシェルターボックスとの協力方法について、地区ガバナー向けの特別メッセージ（英語）をご覧ください。また、行動のためのツールキット（英語）もご参照ください。

